

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	サポートハウス心愛		公表日 2026年 1月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・日によって差が激しい。・人数が足りない為、子供の様子を見て職員配置を工夫している。	・日によって差が激しい。・人数が足りない為、子供の様子を見て職員配置を今後も工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		・机上に物がたくさん乗ってしまうことがあるので気を付けていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・気づいたことは声をかけて、全員が周知できるようにしている。	・一部の職員になっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・職員から意見を聞き、どうしたらよいか考えていくように心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・第三書の外部評価として取り組んではいないが、法人独自で第三者に評価はお願いをしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・今年度は講師を迎えてもらい勉強になった。	・今後も、外部講師を迎えて研修をしたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・その子を直接見ているグループ担当の意見も聞いている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		・個人ファイルで管理しているので常に見ることができ、共有されていないこともあると思う。・目標について職員間で話をしているが、全員に周知されていないことがあるので伝えたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・ミーティングで話し合っていて決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・次の週の活動内容を決めている。	・固定化しないように心がけているが、自分自身もっと柔軟にいろいろ工夫し考えていく。・固定化しないように気を付けているが、内容の方の充実も図りたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・子供の段階においてのグループ分けを考えている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		・職員配置はできているが、内容については、グループの主の者だけになっており、伝達するようにしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4	3	・気づいたことは、その日のうちに話し合っている。・打ち合わせという形ではないが、気づいた点等、話をし、共有している。	・グループ内では共有しているように思われるが、お互いに把握できているかは疑問、声を掛け合いたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日々の記録を書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・園、相談支援事業所、親、心愛で話し合いの場を設けている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・子供の様子で文章化して分かりやすいように明記している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保育所等訪問支援担当職員が細やかに詳しく対応、報告をもらえるため、園との情報共有、相互理解を図ることができている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		・自立支援協議会、中核機能の取り組みなどで、取り組んでいる。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・同じ世代の交流は難しいが中学生が職場体験等で交流を持っている。	・地域交流は様々な内容で取り組んでいきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	・帰りの送迎やライン等で共通理解をしている。・送迎時やライン、手紙で様子を知らせている。	・今後も送迎や、ライン、手紙などで様々な状況を伝え合っていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・土曜活動で親子で参加できるものを工夫して計画を立てている。	・自分自身の勉強を深めないといけない。・研修を受ける機会を設けていきたい。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談時に話し合っている。・面談で保護者から話を聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・面談時におこなっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・その都度行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・保護者会などとして行っていないが、土曜活動日で親子、兄弟を含め参加できる活動日を設けている。	・父母会はなかなかできていない。・父母会を立ち上げてはいるが、土曜活動で親たちが話せるような時間を設けている。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・定期的面談を入れているのと、随時の相談申し入れには受け付けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・「心愛たより」の発行を行っている。	・ホームページの内容については検討をしていきたい。必要な内容は更新をしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報について、まとめて保護をして留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・防災訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		・訓練を計画的に取り組んでいく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーの子はいないが、疑わしい時には、保護者に確認をとるようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	・法人として研修会を設けて勉強している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1			